

ホームレス者の実態 2007-2009

ホームレス者の経年的変化

2007年から3回、多くのボランティアに参加してもらい、歯科相談会を実施し、福岡市のホームレス者の生活や健康状態を調べました。生活や全身の健康は問診票で、口腔内は歯科医師による検診で調査しました。

調査結果	2007年3月	2008年12月	2009年11月
相談者数	96名	50名	39名
平均年齢	58.1歳	57.4歳	55.6歳
年齢分布	31~78歳	26~75歳	26~70歳
平均野宿期間	39ヶ月	26ヶ月	23ヶ月
健康状態(悪い)	23%	12%	8%
現在病気がある	33%	18%	18%
有効保険証がある	9%	16%	18%
生活保護がある	6%	4%	11%
住民登録がある	37%	50%	56%
勤労意欲(強い・非常に強い)	60%	86%	39%
食事回数	2.1回	2.1回	2回
歯が原因の困りごと(仕事・睡眠・食事)がある人	24%	36%	29%
歯磨きをしている人	56%	36%	66%
現在歯数	17.8本	16.8本	19.0本
健全歯数	10.0本	8.0本	8.9本
処置歯数	3.0本	4.5本	4.2本
未処置歯数	4.9本	4.5本	5.5本
要補綴歯数	9.3本	9.6本	6.6本

2007

平均年齢が高く、野宿期間が長い人が多く、健康に不安を抱えている人が多くいました。口腔内は、重症化し治療をしていないむし歯や抜けたまま放置された歯が多く、非常に悪い状態であることがわかりました。しかし、健康保険証がない人がほとんどで、治療を受けられない状況でした。

2008

雇用状態の悪化により、20代~40代の若いホームレス者が増え、野宿期間は短く、勤労意欲が強い人が多く見られました。全身の健康はそれほど問題ないのですが、口の健康に関しては、治療をせず重症化したむし歯や抜けたまま放置されている歯が多く、非常に悪い状態でした。

また、夜間歯科相談受診者のデータを分析したところ、就労意欲のある人たちは入れ歯や前歯を入れたいと希望する人が多く、就労意欲のない人達は痛みの除去などの緊急処置を希望する人が多く見られました。

現在、福岡市では1日医療券で緊急処置はできます。しかし、就労自立を目指すホームレス者が希望している入れ歯などの補綴治療が受けられる制度や行政サービスはなく、自立のための歯科支援は十分ではありません。

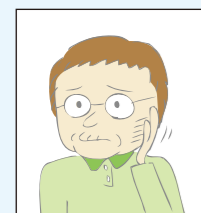
2009

ホームレス者の生活保護申請が可能になり、炊き出しに来られる人が最も少ない年でした。しかし、雇用情勢の悪化など社会状況を反映し、20代~40代のホームレス者が増加しています。平均年齢が最も低く野宿期間も短いため、住民登録がある人が多数おられました。抜けたまま放置されている歯は過去2年と比べて少なくなっています。しかし、治療していないむし歯は多く、このまま治療せず放置すると重症化し痛みがでる、歯が折れる、噛めなくなる、抜けてしまうなど、咬合が急速に崩壊していく危険性があります。



ケースレポート

歯科治療をすることで
こんな変化がありました!



Tさん
59歳男性

口腔内の状況
欠損歯数26本
(残っている歯は2本)

歯科治療に6回通いました。
残っていた重度歯周病の
2本の歯は抜歯し、
総入れ歯を作製しました。

表1. Tさんの治療前・治療後(総入れ歯装着後)の変化

	治療前	治療後	変化
Well-Being度 (20点満点)	10点	16点	😊 UP
見かけの満足度 (10点満点)	2点	10点	😊😊😊😊😊 大幅 UP
発音の満足度 (10点満点)	2点	7点	😊😊😊😊 UP
食べることの満足度 (10点満点)	2点	4点	😊 UP

表1. 「Tさんの治療前・治療後(総入れ歯装着後)の変化」は、すべての項目で得点がアップし、改善していました。特に見かけの満足度は上昇し、大きな満足が得られています。治療前に食べられるものは「とうふ、おかゆ、プリン」でしたが、義歯装着後は「ごはん、煮魚」が食べられるようになりました。

治療中に、生活にも変化が見られました。外出回数が「週3~4回」から「週5回以上」に増え、外出先も治療前は「公園に散歩、買い物に行く」のみでしたが、義歯印象前から「ハローワークに求職」が加わりました。また、5回目来院時から「歯科医院に診療」が加わり、「歯科医院に通うこと」が生活の一部と

なっていました。義歯装着後「口の見栄えがよくなったが、義歯に馴染むのは難しい」という記述が見られましたが、「根気よく挑戦していきたい」と、とても前向きな言葉が聞かれました。

見かけの満足度は高くなり、見かけがよくなることで「外に出て行こう」「社会に出て行こう」という気持ちになり、自信や就労意欲にもつながるようです。

このように、歯科治療のプロセスで食生活や生活状況に変化が見られました。野宿生活から生活保護を受け、普通の生活ができるようになったことも影響していると思いますが、歯科治療がホームレスの方の自立支援の一助を担う可能性は大いにあります。

CASE REPORT